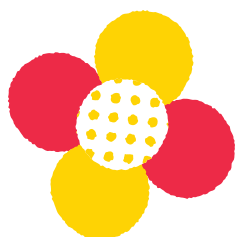
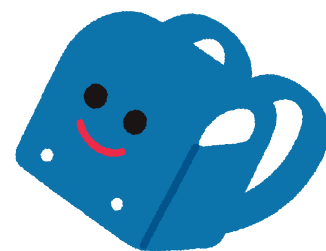


事業のご報告

ANNUAL REPORT 2026

日本コープ共済生活協同組合連合会



CO・OP共済のめざすもの

私たちはCO・OP共済によって、組合員相互の助け合いにより、組合員のくらしの中の各種の危険による経済的な損失を保障することを中心にして、組合員のくらしの向上に役立ち、生協の発展、協同組合運動の普及と豊かな社会づくりへの貢献をめざします。

1 CO・OP共済は、組合員のくらしに必要な保障を、より良い内容、より安い掛金で実現します。

- (1) CO・OP共済の開発・改善は、組合員のニーズを最大限に反映してすすめます。
- (2) より安い掛金で質の高い保障内容を追求し、生命・医療分野で組合員に一番に選ばれるCO・OP共済をめざします。

2 CO・OP共済は、共済金の支払いを受けた組合員の声の紹介や、共済の必要性を理解していただくことを通して、協同組合の基本的価値である相互扶助や協同の精神を育みます。

- (1) 多くの組合員に生協の理念と共済の加入を呼びかけて、組合員とのコミュニケーションをはかり、組合員と生協職員との信頼関係を高めます。
- (2) 組合員と職員とのコミュニケーションを促進し、組合員相互の助け合いのこころを育みます。

3 CO・OP共済は、健全で効率的な共済事業の運営と加入者の拡大により生協の社会的信頼を高めます。

- (1) 加入者の信頼にこたえるよう、安定的かつ効率的な事業運営をめざします。
- (2) 法令・社会的倫理を遵守し、適正な加入推進をすすめるCO・OP共済のコンプライアンス推進体制を強化していきます。

4 CO・OP共済は、組合員が共済や保険について学び合える機会をつくり、くらしに役立つ保障の選択ができる力を養います。

- (1) 組合員同士が学び合える機会をつくることで、私的保障や社会保障への関心を高めます。
- (2) 保障を中心とした組合員の学び合いをすすめ、くらしに合った適切な選択ができるよう支援します。
- (3) 学び合いが自主的、恒常的にすすめられるよう、生協の組合員や職員のなかにライフプランアドバイザーを育成しそのレベルアップをはかります。

5 CO・OP共済は、少子高齢化、健康、福祉の問題を積極的に受け止め、社会福祉活動・災害時の対応等の社会貢献をおこないます。

- (1) 地震等の異常災害時のお見舞金支払いに備えて継続的に積み立てを行い、全国で支援活動に取り組みます。
- (2) 加入者に対する還元方法の一つとして、事故予防運動や健康増進活動等のサービスを検討、実施します。
- (3) 加入者の理解を得ながら剰余金の一部を財源として社会貢献活動を行っていきます。

組織概要

(2026年3月20日現在)

組織名 ▶ 日本コープ共済生活協同組合連合会

略 称 ▶ コープ共済連／CO・OP共済連

設 立 ▶ 2008年11月5日

会員数 ▶ 358会員

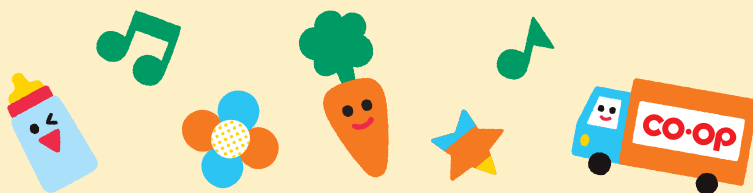
所在地 ▶ 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目1番13号



最新情報につきましては、
CO・OP共済オフィシャルホームページをご覧ください。



<https://coopkyosai.coop>



もくじ

ごあいさつ 2
CO・OP共済の加入者数の推移とあゆみ
CO・OP共済の2030年ビジョン
共済中計2029

1	CO・OP共済とは	8
2	トピックス	10
3	2025年度の事業と経営の概況	15
4	CO・OP共済商品の紹介	23
5	CO・OP共済のご加入とお支払い	33
6	組合員の声にもとづく事業運営	35
7	大学生協での共済の取り組み	37
8	リスク管理・コンプライアンスの取り組み	38
9	組合員・利用者へのサポート	45
10	社会的取り組み	50
11	コープ共済連および子会社の組織概要	64
12	データ編	70
13	参考資料	109
14	CO・OP共済取り扱い会員生協一覧	112
15	用語解説	118

本誌について

本誌はCO・OP共済の事業の報告書です。
また、消費生活協同組合法第53条の2にもとづくコープ
共済連のディスクロージャー資料です。

団体名称の表記について

コープ共済連は正式名称が「日本コープ共済生活協同
組合連合会」、略称が「コープ共済連」「CO・OP共済連」
です。日本生協連は正式名称が「日本生活協同組合連
合会」、略称が「日本生協連」です。

え・かしわらあきお



ごあいさつ

2025年度は、被爆・戦後80年とともに、国連が定めた2回目の国際協同組合年（IYC2025）という生協にとって節目の年でしたが、国際情勢はかつてないほど不安定な状態が続いています。アメリカとイスラエルによるイラン攻撃をはじめ、世界各地で政治的・軍事的緊張が高まり、子どもや女性を含む多くの一般市民が犠牲になっています。共済の「助け合い」と戦争は、全く相いれません。分断と対立が拡大するなかで、協同組合への期待はますます高まっています。安心して暮らせる社会や未来を築くために、より一層貢献していきたいと思います。

さて、CO・OP共済事業は、モデル生協の取り組みや共済の理念・価値の学びを会員生協で旺盛にすすめていただき、加入推進は回復基調となりました。

2025年度末時点で新規加入の純増は11万人を超え、元受共済加入者は994万人、受託共済を含む加入者は1,048万人を超え、受入共済掛金の総額は2,272億円となりました。また2025年度 JCSI（日本版顧客満

足度指数）第4回調査では、生命保険部門で第1位（通算9度目）の評価をいただきました。これは会員生協の役職員の皆様、宅配の担当者や店舗窓口の職員、コールセンターの職員が、日々組合員一人ひとりに寄り添いきめ細やかな対応を継続いただいた成果であると考えています。心より感謝申し上げます。

2024年9月にスタートした「お誕生前申し込み」は、加入者が累計で5万人を超え（2026年5月末時点）、大きな反響をいただいています。妊娠・出産の不安を少しでも減らしていく子育て支援でもあり、若年層の生協加入や購買事業・活動につながる大きな可能性をもっています。引き続き行政機関とも連携し本制度を広くお知らせし、生まれてくる子どもたちの多くが加入いただけるよう大切に育てていきたいと思えます。

また2026年2月より日本生協連と連携し「100か月CO・OP」の取り組みを開始しました。妊娠期から小学校入学までの子どもの成長にとって大切なこの時期を、社会全体で支えようという取り組みです。生

CO・OP共済の加入者の推移とあゆみ

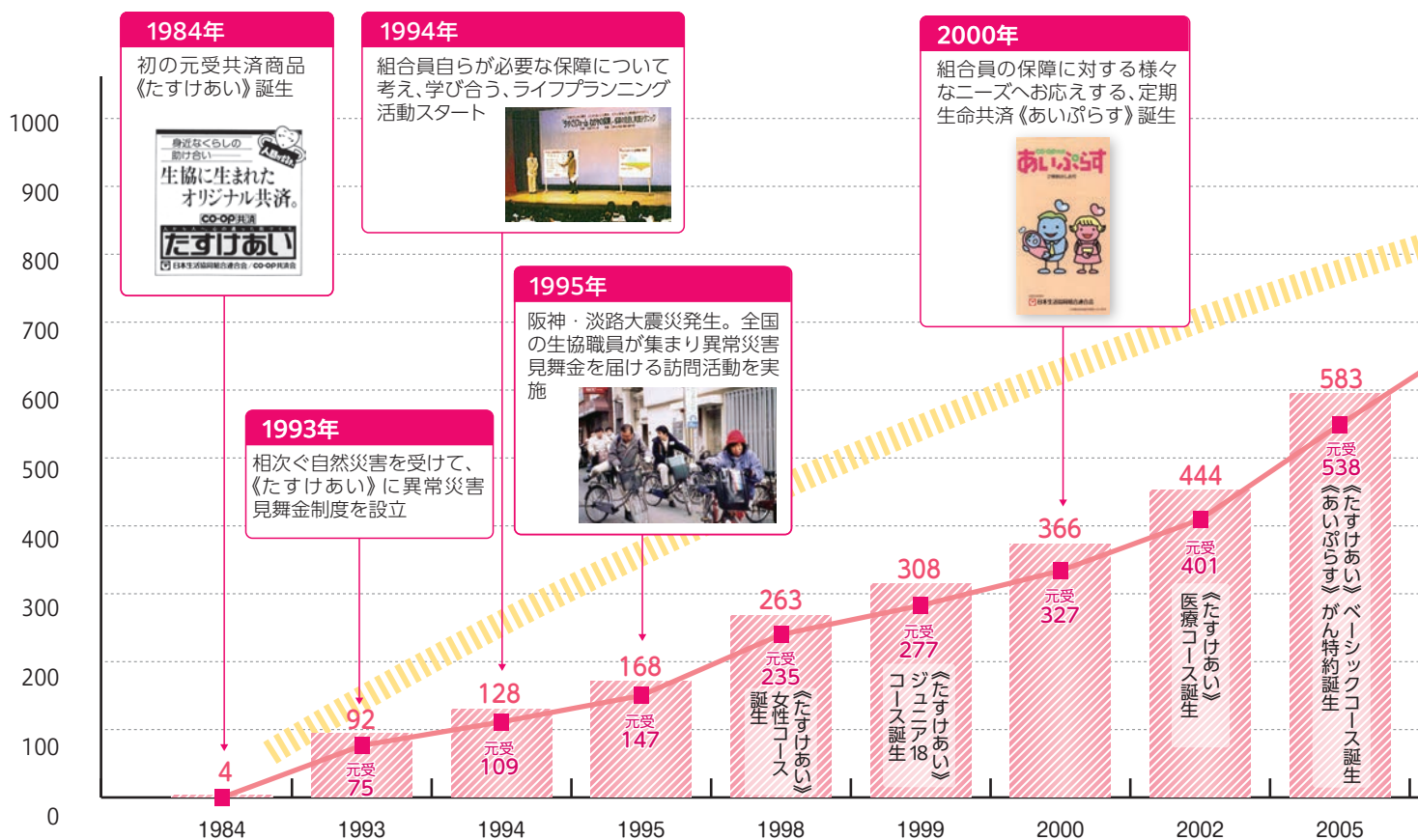
「組合員どうし困ったときは助け合いたい」という気持ちから生まれたCO・OP共済は、組合員の声をもとに、商品の見直しを重ね、たすけあいの輪を広げ、加入者数は2025年度末に994万人となりました。

※当冊子では、特にことわりがない場合は「加入者数」は元受共済の加入者数をさします。

▶ CO・OP共済合計／元受共済 加入者数の推移とあゆみ

※本項の「あゆみ」は概要です。詳細は参考資料（p.110-111）をご参照ください。

CO・OP共済合計 元受共済



協は子育ての応援団として、子どもの健やかな成長をサポートし、購買事業と共済事業の両面から『生協の価値』を発信して、生協ブランドの認知拡大につなげていきます

コープ共済連で掲げる「2030年ビジョン」も折り返しの段階に入りました。2025年度とりまとめた「共済中計2029」では「会員生協と一体となって挑戦を重ね、社会情勢や事業環境の変化にも柔軟に対応することで、コロナ禍前の成長に回帰し、さらに成長を加速させること」を基調としています。組合員のくらしの貢献、会員生協の事業への貢献、持続可能な社会への貢献をすすめ、次の10年にむけた持続的な成長と新たな挑戦の基盤づくりをすすめます。

現在、組合員のくらしを取り巻く環境は、少子高齢化の加速、実質賃金が減少するなかでの物価高騰、経済格差の拡大など、一層厳しさを増しています。わたしたちは組合員どうしがつながり、ささえあうことが、一人ひとりのより良い明日につながるものと考えています。コープ共済連は全国の会員生協と力を合わせて課題解決に取り組み、組合員が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献していきます。今後も、CO・OP共済に対する一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



日本コープ共済生活協同組合連合会
代表理事理事長
笹川 博子

2011年

組合員からの「一生継続保障を」の声を受け、終身共済《ずっとあい》誕生



東日本大震災発生。未曾有の被害を受け、全国の会員生協とともに支援を実施



2017年

高齢化の進むなか、元気な高齢者が活躍できる地域づくりを応援する「健康づくり支援企画」を開始



2022年

大学生協共済連から共済事業を譲受。大学生協の学生総合共済を元受に



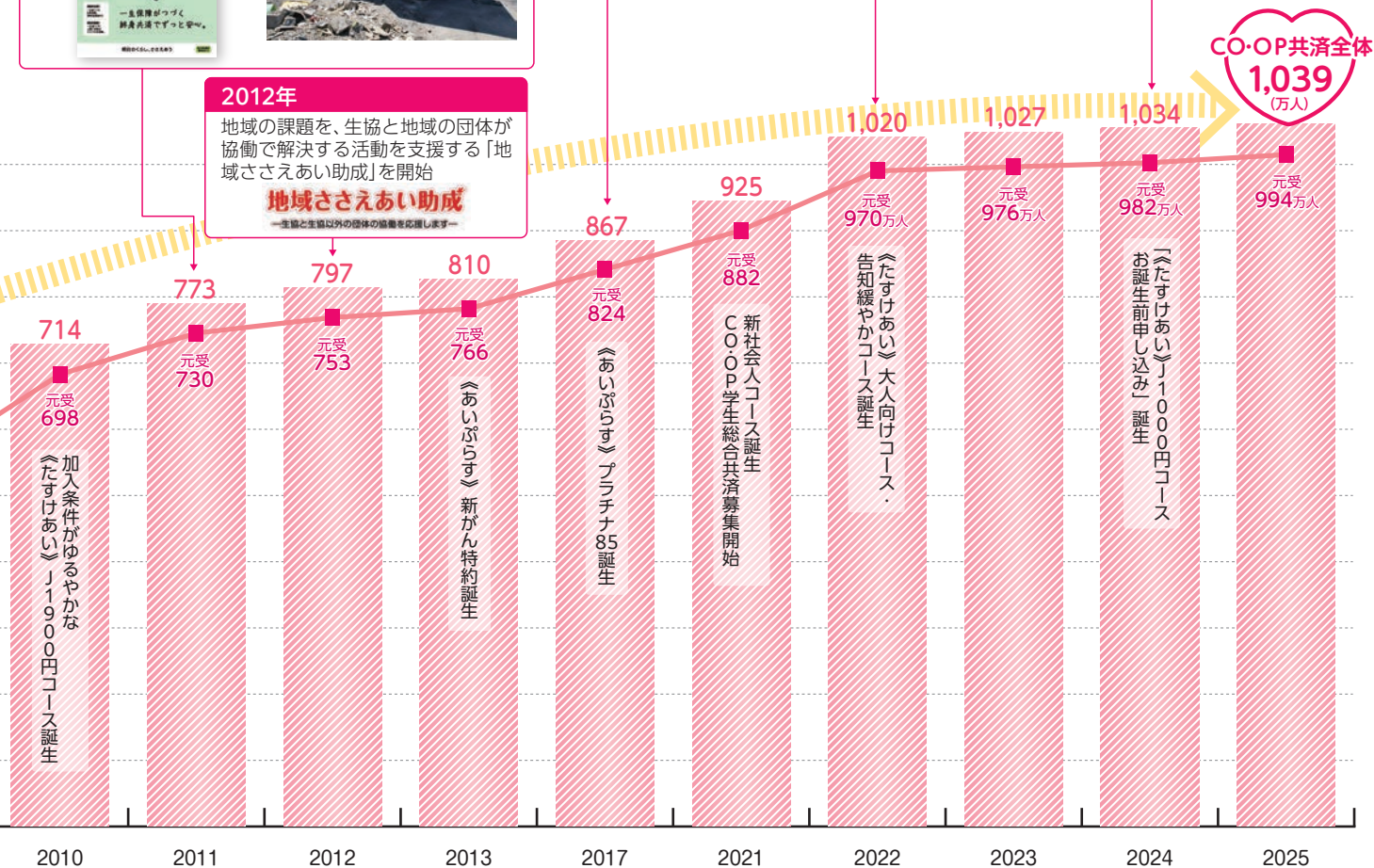
2024年

組合員からの「妊娠中から子どもの保障を備えたい」の声に応え、《たすけあい》1000円コース「お誕生前申し込み」開始



2012年

地域の課題を、生協と地域の団体が協働で解決する活動を支援する「地域ささえあい助成」を開始



CO・OP共済の2030年ビジョン

CO・OP共済は、これからの10年を考えた新しい長期ビジョン「CO・OP共済2030年ビジョン」を策定しました。生協の保障事業として組合員の声をベースに、手ごろな掛金、いざというとき役に立つ保障内容、わかりやすい手続き、コスト低減といった改善を常にすすめながら、組合員とその家族に寄り添い役立ち続ける事業と活動を組合員と一緒につくっていきます。

一緒につくる **明日**の暮らし ～CO・OP共済2030～

CO・OP共済はみんなの力でつながり、ささえあい、
組合員と家族によりそい、新しい“たすけあいのかたち”と
よりよい明日の暮らしを一緒につくります。



大切にしたい5つのこと

組合員の参加と共感のエネルギーをかたちにし、組合員どうしのたすけあいであるCO・OP共済の良さや想いをより多くの組合員・職員に広めること。

参加と
共感

くらしを取り巻く環境が厳しいからこそ、くらしの安心保障を提供するCO・OP共済が役立つ場面が増えること。

特に、女性と子どもの保障に特徴を持つこと。

くらしへ
貢献

組合員のくらしや環境の変化をとらえ、役立ち続けられるように変わること、チャレンジすること。

変化へ
の対応

人口減の中、組合員の地域でのくらしを守るために、行政や他団体と連携し地域社会での役割発揮を高めること。

地域へ
貢献

明日のくらしをつくる安定した事業運営

保険業界の競争激化、IT技術による業界変革、人口減少・少子高齢化による推進へのマイナス圧力に向き合っていく中で変化への対応力を向上させること。



1 たすけあいの仕組みで、生まれる前から 一生涯の保障を提供できる姿 (商品開発課題)

- ①女性と子どもの保障に特徴を持ち、わかりやすく、シンプルな保障に進化します。
- ②学生から新社会人世代へのたすけあいの輪を広げます。
- ③人生100年時代にふさわしい高齢者の保障や健康づくり活動の充実をはかります。
- ④元受共済、受託共済、団体保険などをバランスよく取り扱い、組合員のくらしの総合保障の充実をめざします。

2 たすけあいの輪が広がっている姿 (推進課題と共同事業の課題)

- ①CO・OP共済未加入者へのお知らせと既加入者への対応をすすめます。
- ②年代ごとのおすすめ内容を明確化し、一生涯の保障を提案します。
- ③共済推進スタッフの体制づくり支援と教育研修制度の充実をはかります。
- ④組合員同士の情報発信を広げます。
- ⑤CO・OP共済のブランディングをととして認知度向上の活動を強化します。

3 組合員自らが「わたしたちの共済」 と思える姿 (組合員の参加と共感を広げる課題)

- ①組合員がCO・OP共済の運営に参加する場を広げます。
- ②共済事業を通じて組合員が社会貢献活動に参加する機会を広げます。
- ③会員生協の組合員活動への支援を強化し、学びあい、たすけあう活動の輪を広げます。

4 便利でやさしさと安心を感じる 手続きができる姿 (CO・OP共済らしい事務構築の課題)

- ①加入や保全*の場面での改善をすすめます。
- ②共済金のお支払いの場面での改善をすすめます。
- ③加入者からの問い合わせ対応や定期的な案内での改善に取り組みます。

*契約変更のお手続き

5 社会的役割発揮や生協事業の総合力発揮に貢献するCO・OP共済事業の姿 (事業としての役割発揮拡大・協同組合間協同の課題)

- ①くらしやすい地域社会の実現に向けCO・OP共済としての社会貢献活動に参加します。
- ②CO・OP共済のお役立ちの場面をより多角化する検討をすすめます。
- ③会員生協との共同事業と協同組合間協同を深めます。



6 職員がやりがいをもって 生き活きと働いている姿 (CO・OP共済を支える職員の育成課題)

- ①CO・OP共済ファンの職員を増やす取り組み*をすすめます。
- ②共済事業の専門性を高めるとともに、生協の現場を学び提案力を高めます。
- ③働き続けたい職場づくりをすすめます。

*職員間で組合員の声やCO・OP共済のお役立ちなどを共有する取り組み

7 安定した事業運営ができている姿 (事業運営課題)

- ①基幹システムの再構築など、CO・OP共済の事業基盤を強化します。
- ②BCP対策*を継続します。
- ③適切かつ安定的な事業運営を継続します。
- ④加入者が安心して加入し続けられるよう財務の健全性を維持・向上します。

*事業継続計画

共済中計2029

CO・OP共済は、2030年ビジョンの実現に向けた最終期間の計画として、「共済中計2029」を策定しました。2026年度から2029年度までの4か年にわたり、「成長の再加速」を基調に、組合員の暮らしへの貢献をさらに広げるとともに、持続的な成長と新たな挑戦に取り組んでいきます。

共済中計2022

コロナ禍による
社会・経済の混乱

共済中計2025

アフターコロナにおける
推進力の回復

共済中計2029

成長の再加速

～「挑戦」と「変化」で未来をつくる～

策定にあたって

CO・OP共済が大切にしてきたこと

「自分の掛金が誰かの役に立つ」「いざというときは自分も誰かに支えられる」という、組合員どうしのたすけあいの精神を体現したコープ商品、それがCO・OP共済です。

1984年：《たすけあい》スタート

2010年：J1900円コースの誕生

2024年：お誕生日前申し込みの誕生

組合員の信頼を基盤として加入者の輪を広げ、従来は保険や共済に加入できなかった方々にも、たすけあいの輪を広げることができるようになりました。

職員にとっても、「たすけあい」の精神や理念を実践的に学び、組合員から感謝される経験を通じて、やりがいや自信を高める機会となっています。そして、その経験を基に職員が組合員に共済をすすめ、共感の輪が広がっていくことが、CO・OP共済の成長を支える原動力となっています。

コロナ禍後の状況

コロナ禍を経た2023年度以降、以前のようにたすけあいの輪を広げることが難しくなっています。

現在、少子高齢化の進行や物価高騰、経済格差の拡大などにより、組合員の暮らしを取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

わたしたちが果たすべき役割

このような時代だからこそ、組合員どうしがつながり、ささえあうことが一人ひとりのより良い明日につながるものと信じています。

本中計では、「一人でも多くの方に共済を届けたい」という想いを大切に、世帯全体に保障を広げることを通じて、組合員の暮らしにお役立ちしていくことをめざします。

今後も、会員生協とともに、組合員とそこご家族に寄り添い、みんなの力でつながり、ささえあう、よりよい明日の暮らしづくりに貢献していきます。

共済中計2029

成長の再加速

～「挑戦」と「変化」で
未来をつくる～

CO・OP共済 2030年ビジョン

一緒につくる明日の暮らし
～CO・OP共済2030～

CO・OP共済はみんなの力でつながり、
ささえあい、組合員と家族によりそい、
新しい「たすけあいのかたち」と
よりよい明日の暮らしを
一緒につくります。

全体像

【目的】

組合員の暮らしに貢献（一緒につくる明日の暮らし～2030年ビジョンのメインステートメント～）



つながりを広める

新規加入者の拡大およびライフステージに応じた保障提案を通じて、たすけあいの輪を広げる



つながりを深める

世帯保障の提案により、組合員の家族全体を支え、生協とのつながりを深める



つながりを高める

アフターフォロー体制の確立を通じて、「入り続けて良かった」と感じられるよう、共済とのつながりを高める

【成長の柱】（共済推進・共同事業）

1



「お誕生前申し込み」
をきっかけとした
世帯保障の提案強化

「お誕生前申し込み」
出生数の20%への挑戦

2



組合員との新たな接点強化
（組合員満足度の向上と
世帯全体のお役立ち強化）

対面・電話・マイページ・DMを
組み合わせた接点拡大への挑戦

3



生協全体の総合力強化
（日本生協連との合同プロ
モーションの展開など）

事業の枠を超えた
組合員貢献への挑戦

早期共済加入を重点とする日常推進



【成長を支える課題】

商品開発（《あいぶらす》《ずっとあい》商品力強化など）
組合員の参加と共感（「わたしたちの共済」と思える姿と共感、LP 活動の拡充など）
CO・OP共済らしい事務（マイページの強化、AI の活用など）
役割発揮・協同組合間協同（社会貢献活動、SDGsなど）



【事業を支える基盤】

事業基盤の強化（システム開発、BCP 対策、リスク管理など）
人材育成（人材確保への投資、ダイバーシティの推進など）

1 生協、コープ共済連とは

✳ 生協とは

生協（消費生活協同組合）は、消費者どうしの結びつきによる非営利の協同組合であり、「消費生活協同組合法（略称：生協法）」にもとづいて設立されています。利用者である消費者自身が出資して組合員となり、意思決定や運営に参画して、よりよい暮らしを実現することをめざしています。

宅配や店舗での商品供給、共済、医療、福祉事業や、組合員どうしの助け合い活動、暮らしに関わる学習活動など、幅広く取り組んでいます。



✳ コープ共済連とは

日本コープ共済生活協同組合連合会（略称：コープ共済連）が実施するCO・OP共済事業は、1979年、日本生協連の一事業としてはじまりました。

コープ共済連は、2007年の生協法改正に伴い、2008年11月に、CO・OP共済を取り扱う各地域の生協および日本生協連が共同して設立した共済事業を専業とする全国連合会です。

CO・OP共済を取り扱う各地域・大学の生協（および連合会）と、全国労働者共済生活協同組合連合会（こくみん共済 coop〈全労済〉）、全国大学生生活協同組合連合会（大学生協連）、日本生協連による計358の会員生協で構成されています（2026年6月19日現在）。

また、CO・OP共済事業は、日本生協連で実施する商品供給事業、福祉事業支援等の活動とも密接な関係を持ち、組合員のふだんの暮らしに役立つ事業をめざしています。



2 CO・OP共済は全国で加入できます

CO・OP共済は、主に地域の購買生協でご加入できます。ご加入いただく場合は、まず出資金をお支払いいただき、地域の生協の組合員になっていただきます。引越し等によって、やむを得ず生協を脱退する場合でも、転居先のCO・OP共済を取り扱っている生協で組合員になっていただければ契約を継続できます。

なお、CO・OP学生総合共済は、大学生協と地域生協でご加入いただけます。

3 元受共済と受託共済

CO・OP共済には、元受共済と受託共済があります。元受共済は、コープ共済連が契約引受団体となり、共済掛金を預かり、共済金を支払う責任を負う共済です。元受共済として、CO・OP共済《たすけあい》、CO・OP共済《あいづらす》、CO・OP共済《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉・終身医療、CO・OP学生総合共済の5商品があります。《たすけあい》はご加入の生協により、その生協が加盟する連合会（生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会、パルシステム共済生活協同組合連合会、グリーンコープ共済生活協同組合連合会）とコープ共済連が共同で引き受け、各団体がそれぞれ共済金を支払う責任を負います。

元受共済だけではカバーできない分野の保障については、こくみん共済 coop〈全労済〉や損害保険会社等と提携して組合員に提供しています。

商 品 名		契約引受団体	取扱団体
元受共済	《たすけあい》	コープ共済連	会員生協
		コープ共済連・共同引受会員	会員生協
	《あいづらす》	コープ共済連	会員生協
	《ずっとあい》終身生命	コープ共済連	会員生協
	《ずっとあい》終身医療	コープ共済連	会員生協
	《学生総合共済》	コープ共済連	会員生協
受託共済	《新あいあい》	こくみん共済 coop〈全労済〉	会員生協
	《火災共済》	こくみん共済 coop〈全労済〉	会員生協
	《マイカー共済》	こくみん共済 coop〈全労済〉	会員生協

※CO・OP共済の保障責任については、各契約引受団体は連帯することなく、その引き受けに応じて単独で責任を負います。

1 たすけあいの仕組みで、子どもと家族の未来を支える取り組み

(1) 《たすけあい》J1000円コースお誕生前申し込み

CO・OP共済は、誰もが安心して暮らせる社会を支えるため、人生のあらゆる場面に寄り添うたすけあいの仕組みづくりを進めてきました。なかでも、妊娠・出産期は、家族にとって大きな喜びであると同時に、医療面や経済面での不安が生じやすい時期でもあります。

こうした背景を踏まえ、2024年9月にスタートしたのが、「お誕生前申し込み」です。本制度は、妊娠中に申し込むことで生まれた日から赤ちゃんの保障が開始される仕組みです。「生まれてすぐの入院や治療に備えたい」という組合員の切実な声から生まれました。

制度開始後、利用は全国に広がり 2026年5月末時点では5万人を超える方に申し込みをいただいています。大きな反響をいただいております。制度に対する期待の高さであると受け止めています。

また、本取り組みは「日本子育て支援大賞 2025」^{*}を受賞しました。審査では「赤ちゃんの健康状態に関わらず申し込める点」や「分け隔てなく子育て世帯に寄り添った保障である点」が高く評価されています。少子化が進行する社会において、妊娠・出産期の不安を少しでも軽減し、安心して子育てを始められる環境づくりに貢献してまいります。

※「日本子育て支援大賞」は、子育てママとパパさらにはその祖父母が実際に“役立った価値”を大いに評価する賞です。



加入者の声

加入者インタビューを見る



CO・OP共済は、「お誕生前申し込み」を、人生のスタートラインに立つご家族へ贈る“最初のお守り”と位置づけています。妊娠期から乳幼児期、学童期、さらには成人期・高齢期まで、途切れることのない保障を提供することで、一生涯にわたるたすけあいの実現を目指しています。

(2)「100か月CO・OP」の取り組み

妊娠期から小学校入学までのおおむね100か月は、「こどもの健やかな成長にとって特に大切な時期」とされています。こども家庭庁が掲げる「はじめの100か月の育ちビジョン」でも、この期間への切れ目ない支援の重要性が強調されています。

コープ共済連と日本生協連は、この考え方に賛同し、2026年2月から合同施策として「100か月CO・OP」を全国で開始しました。これまで、宅配・店舗事業と共済事業は、同じCO・OPブランドでありながら、特に若年層において別々のサービスとして認知される傾向がありました。そこで、妊娠期から子育て期に寄り添う生協の強みを一体的に発信することを目的に、本施策が企画されました。

「100か月CO・OP」では、共済による「保障」と、生協が提供する「食」やくらしのサービスを両輪とし、子育て世帯の不安や負担を軽減するサポートを展開しています。具体的には、「お誕生前申し込み」をはじめとするCO・OP共済の商品や、乳幼児向け食品シリーズ「きらきらステップ」を、特設サイトなどを通じて一体的に紹介し、「妊娠・出産・子育てのそばには、いつもCO・OPがある」というメッセージを発信しています。

CO・OP共済は、「100か月CO・OP」を通じて、保障とくらしを一体で支える生協グループならではの価値を明確にし、子どもと家族の未来を支えるたすけあいの基盤をさらに強化していきます。



(3) 顧客満足度 9度目の第1位を獲得

CO・OP共済は、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が2025年10月28日に発表した2025年度JCSI（日本版顧客満足度指数）第4回調査において、生命保険部門で9度目となる顧客満足度第1位の評価をいただきました。

この受賞は、会員生協の現場において、宅配の担当者や店舗窓口の職員が、日々組合員一人ひとりに寄り添い、きめ細やかな対応を継続いただいた成果であると考えています。特に「手続きの簡単さ」や「スタッフ対応の良さ」に関する評価が相対的に高く、知覚価値（サービスの質を含めたコストパフォーマンス）においては、CO・OP共済が最も高い評価を得ており、これが顧客満足度NO.1の結果につながりました。

今後も、全国の生協役職員一丸となって、組合員に寄り添い、真摯に対応を続けるとともに、より便利でやさしいCO・OP共済を目指していきます。



2 日常の不安をやわらげ、くらしの変化に応じて備える

(1) 『生協のくらしの困りごととヒント集』を発行



組合員の声をもとにまとめたヒント集（第1号は介護編）を発行しました。「生協のくらしの困りごととヒント集」シリーズでは、毎号1テーマずつ、くらしの中のさまざまな困りごとに対するヒントを、Q&A形式でお伝えしています。病気や事故が起きたときの備えにとどまらず、日常の中でも役立ち、安心につながる情報として発信していきます。

『生協のくらしの困りごととヒント集』

<https://coopkyosai.coop/about/kurashi-tips/>

(2) 「保障のおてがる相談」で保障の見直しやご相談予約が簡単に

ライフスタイルや家族構成の変化に応じて、必要な保障は変わっていきます。一方で、「どこに相談すればよいかわからない」「手続きが難しそう」と感じる組合員も少なくありません。

こうした課題に応えるため、「保障のおてがる相談」を展開し、スマートフォンやパソコンから簡単に相談予約ができる仕組みを整えています。インターネット上での加入だけでなく、対面相談を組み合わせることで、組合員一人ひとりの状況に寄り添った窓口を実現していきます。

手続きの「便利さ」だけでなく、「丁寧に相談できた」「納得して選べた」と感じられることを大切にし、人による対応力の向上にも力を入れています。



3

CO・OP共済と生協のさまざまな社会的活動

(1) 支援を必要とする子ども・学生などを支える「寄付プロジェクト」を実施

加入者一人ひとりの想いが社会貢献につながる仕組みとして、共済マイページの利用登録や対象となるお手続き件数（1件につき20円）に応じた支援プロジェクトに、2020年から継続して取り組んでいます。2025年も多くの加入者にご協力をいただいた結果、合計1,000万円をお届けすることができました。2025年度は従来の2団体※に加え、2024年1月に発生した能登半島地震への支援も寄付先に加えて共済加入者からの想いをお届けしています。

※一般財団法人 全国大学生協連奨学財団（たすけあい奨学制度）、日本生活協同組合連合会『「子どもの貧困」支援活動への応援助成』



(2) 5回目となる育児あるある川柳 日本全国から26,934件のご応募

第5回「CO・OP共済 育児あるある川柳」の結果を発表しました（2026年1月）。全国から育児の喜怒哀楽を五・七・五で表現した多彩な作品が26,934件も集まりました。

昔から変わらないパパ・ママの想いを描いた作品のほか、物価高など社会的背景を反映した句も多く、今の時代の子育ての姿がリアルに切り取られています。



▲最優秀賞

▲優秀賞

▲プレママ・パパ賞

(3) 生協がつなぐ、「未来の健康づくり」

CO・OP共済の2030年ビジョンでは、人生100年時代にふさわしい「高齢者の保障」や「健康づくり活動」の充実をはかることを掲げています。CO・OP共済や生協を長年にわたり支えてくださった加入者・組合員にこれからも元気にくらしていただくために、また、高齢化の進むなか元気な高齢者の活躍できる地域をつくっていくために、2025年度は全国46生協による51件の健康づくりの取り組みへ支援をおこないました。コープ共済連は、地域に根差した活動を支援し、社会的な健康課題の解決に貢献していきます。



(4) 「みんなのよみきかせ絵本大賞」

コープ共済連は、コープさっぽろや日本生活協同組合連合会などが実施する「第1回 みんなのよみきかせ絵本大賞」に協賛しました。

この大賞は、読み聞かせに関わる方々や保育施設の方々が未来を担う子どもたちのために絵本を選定・表彰する取り組みです。第1回は「園児さんと先生でえらぶ！よみきかせ絵本部門」「絵本大好きさんがえらぶ！よみきかせ絵本部門」の2部門で受賞作品が決定しました。

コープ共済連は、絵本を通じた親子のふれあいの促進と、心豊かな時間の創出に寄与する活動を推進していきます。



(5) 全国高校サッカー選手権大会 夢に向かう学生とご家族を応援

「第104回全国高校サッカー選手権大会」に5度目の協賛をおこないました。

各都道府県での地区大会決勝にもブース出展等により大会運営に参加したほか、1月12日（月）に実施された決勝戦では、協賛社を代表して「協賛社杯」の授与を担当するとともに、来場者へオリジナル応援グッズを配布し、高校生の熱いプレーを後押ししました。



(6) 障がい者スキー 2つの大会に協賛しました

コープ共済連は、全国の組合員に障がい者スキーを広く知っていただき、支援の輪を広げることで、障がい者スポーツの発展に貢献することを目的に、公益財団法人 日本障害者スキー連盟のゴールドパートナーとして障がい者スキーを支援しています。

2025年度は、「CO・OP第28回全日本障害者クロスカントリースキー競技大会」と「CO・OP第4回全日本知的障害者スキー競技大会」の2つの大会にコープグループで協賛しました。

特に前者の大会は、ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会直前の国内大会として注目を集め、多くのメディアにも取り上げられました。

CO・OP共済はこれからも、生協とともに、障がい者スポーツの普及や魅力の発信を通じて、誰もがいきいきと活躍できる「たすけあい」が息づく社会づくりに取り組んでいきます。



1 2025年度における事業の概況

2025年度のCO・OP共済事業は、加入者数が994万人に達し、受入共済掛金は227,290百万円（前年比101.0%）となりました。共済金の支払いは164万件、88,560百万円（前年比103.4%）となりました。

(1) 損益全体の概況

新規加入者数は前年を上回っているものの、計画には届かず、受入共済掛金は227,290百万円（予算差△231百万円）と予算を下回りました。一方、支払共済金も88,560百万円（予算差△189百万円）と予算を下回る状況となりました。

また、物件費については、日本生協連との合同プロモーション（予算外176百万円）の実施などもあり、予算を185百万円超過しました。共済委託手数料は、新規加入者数が計画を下回った影響で、予算差△258百万円となりました。

これらの結果、経常剰余金は46,295百万円（予算差△2,156百万円）となりました。なお、2025年度予算策定においては、異常危険準備金を積立基準額通り計上する想定で予算組みしています。一方で、2025年度決算では、法令で定める基準額以上（終身共済：+1,072百万円、学生総合共済：+1,729百万円）を計上したことから経常剰余金についての予算差が大きくなっています。

(2) 課題の到達点

2025年度はDX推進の取り組み強化として「共済事業システムのグランドデザイン」で策定した課題を中心に取り組みを実施し、組合員の利便性・アフターフォローの向上と会員生協とコープ共済連の業務効率化をすすめました。

- ①DX推進の取り組み：加入手続きのDX推進として、24時間いつでもWebで保障に関するご相談が予約ができる「保障のおてがる相談」を2025年6月にリリース。タブレット加入についても、組合員サービス向上と効率的な推進業務を目的として、全ての申込区分の発効日を早めるとともに、複雑化している機能を一部簡素化するシステム開発をすすめ、2025年6月にリリース。
- ②大学生協との連携：「第43回全国大学生協共済セミナー」（2025年8月21日～23日）を開催。全国大学生協連と連携し、すべての大学生協の参加を位置づけ、呼びかけをおこなった結果、過去最高となる140生協・610名が参加。
- ③商品開発課題：2025年度の商品改定として、大学生協の学生組合員が加入できる就学費用補償保険（大学院進学等により卒業予定年に変更が生じた場合の保障を改善）、および学生賠償責任保険（一人暮らし特約ありに入学前火災保障を追加）の改定について、計画どおり2025年4月より実施。
- ④推進課題・共同事業の課題：2025年度の新規加入者は、471,093人（計画比91.1%、前年比111.1%）となり計画は未達であるも、前年実績からは大きく伸長。2024年度に新たなチャレンジとして取り組んだ「モデル生協」について、2025年度は全国の会員生協で活用できる更なる事例創出のため、生協数を7生協から13生協に増やし継続。うち5生協が新規4商品計画を達成し、モデル13生協合計では計画未達成ながら、全国平均より高い達成率を維持し全国を牽引。
- ⑤組合員の参加と共感を広げる課題：社会的取り組みや社会貢献活動に組合員が参加する仕組みづくりとして、共済マイページでの手続きを通じて寄付をおこなう取り組み「CO・OP共済 未来を照らすプロジェクト」を実施。2025年9月1日より公式HPにて案内を開始。12月時点で上限金額となり、3つの活動へ総額1,000万円を寄付。
- ⑥CO・OP共済らしい事務構築の課題：首都圏での大規模災害や感染症対策として、西日本共済事務センターへの業務移管をすすめ、契約事務管理業務では2025年度末時点で41.4%の移管を完了。
- ⑦共済事業としての役割発揮拡大・協同組合間協同の課題：国際協同組合年（IYC）である2025年の7月に開催された公式イベント「見て、聞いて、体験 協同組合フェスティバル」にCO・OP共済ブースを出展（イベント参加人数は延べ約4,000名）。
- ⑧CO・OP共済を支える職員の育成課題：2025年は戦後・被爆80年となるため、平和に関して職場で共有し深める取り組みをすすめ、2025年11月には職員が平和について考える機会として全職員研修を開催。
- ⑨事業運営課題：BCPの強化として、中長期的な事務本部機能再編の基本方針にもとづく首都圏の事務本部機能の再編について、新鎌ヶ谷駅前の土地について賃貸借契約を締結し、次工程へ進行中。

■ 主要な業務の状況を示す指標

(単位：百万円 / 百万円未満切り捨て)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
経常収益	244,658	251,560	240,353	261,271	271,180
経常剰余金	44,188	△ 24,166	43,827	47,338	46,295
当期剰余金	7,971	△ 19,304	10,534	5,297	5,566
出資金	63,362	63,384	63,383	63,384	63,385
出資口数(単位:口)	633,626	633,845	633,832	633,841	633,851
純資産額	169,686	147,031	158,906	161,873	166,386
総資産額	523,434	492,497	545,789	580,117	611,930
責任準備金残高	218,494	240,348	262,349	284,448	308,166
貸付金残高	—	440	—	—	—
有価証券残高	255,488	260,654	325,122	347,779	406,250
支払余力比率(%)	1586.7	1234.1	1294.9	1327.1	1364.0
剰余金配当の金額(出資配当金)	760	—	760	760	760
職員数(単位:人)	1,548	1,647	1,622	1,623	1,634
保有契約高(単位:億円)	130,863	150,538	150,709	150,735	151,619

注1. 支払余力比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの指標です。「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規程」に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較できません。

2. 職員数は、外部への出向者、日本生協連・会員生協・他団体からの出向者、嘱託職員、派遣スタッフを含みます。

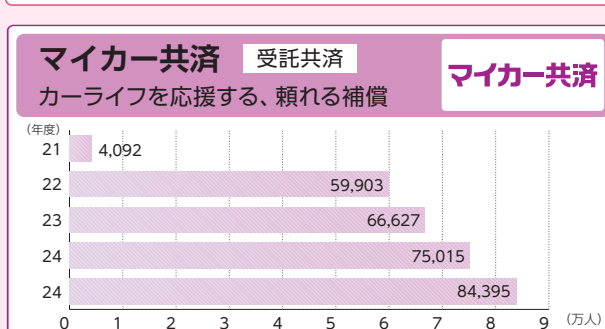
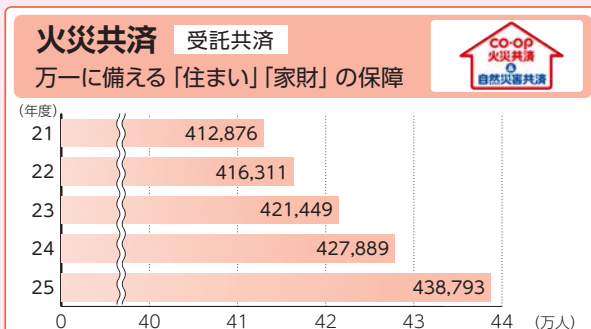
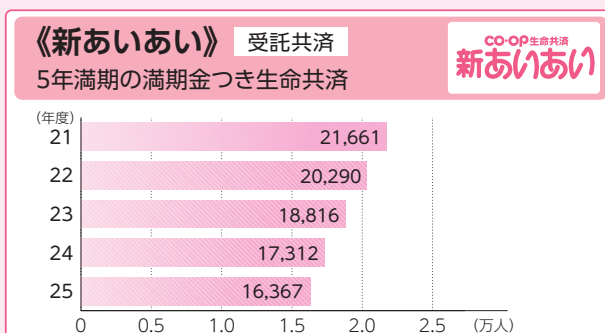
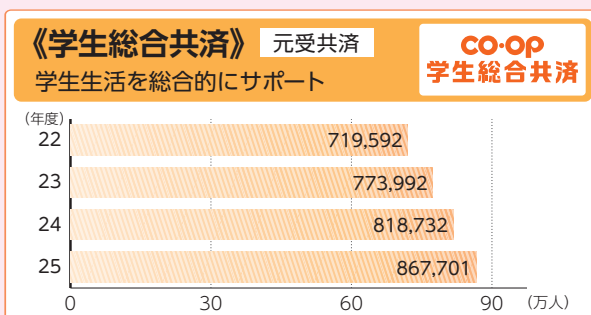
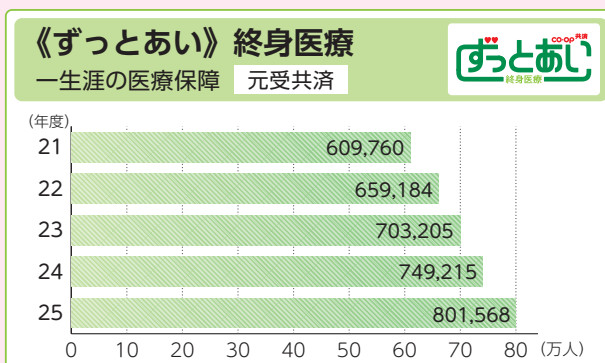
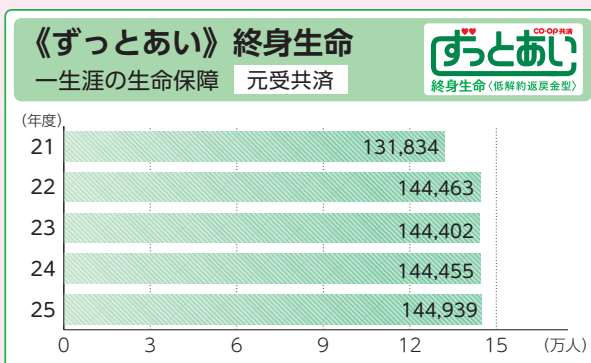
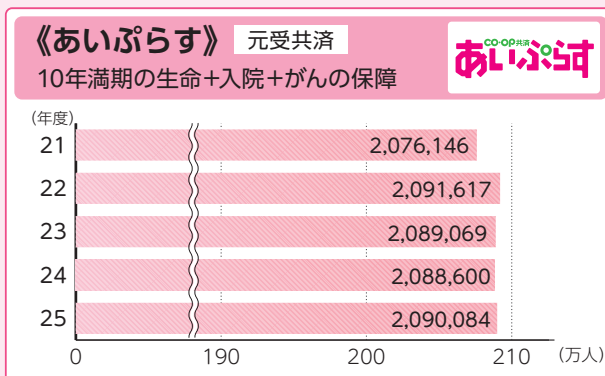
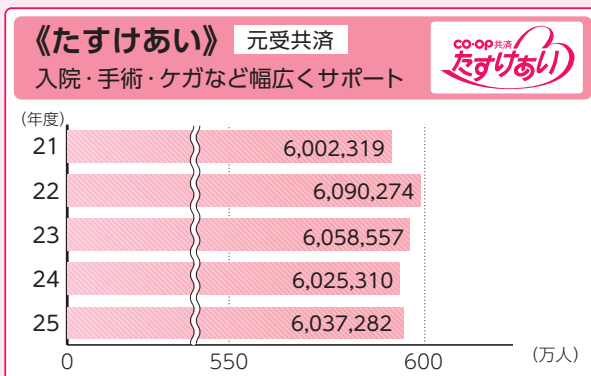
2 CO・OP共済事業の経過と実績

加入者数

CO・OP共済 8商品加入者数 **1,048万人**
元受5商品加入者数 **994万人**

加入者数は13万人増加し、8商品合計で1,048万人（前年比101.3%）となりました。うち、CO・OP共済《たすけあい》603万人、CO・OP共済《あいぷらす》209万人、CO・OP共済《ずっとあい》終身生命14万人、CO・OP共済《ずっとあい》終身医療80万人、《学生総合共済》86万人となり、元受共済合計で994万人（前年比101.2%）となりました。

加入者の推移

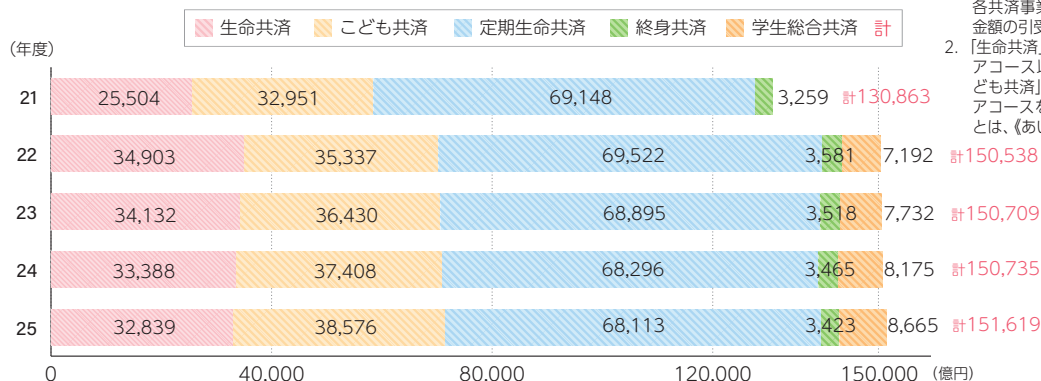


契約高

保有契約高 **15兆1,619億円**

CO・OP共済の保有契約高（元受共済）は、15兆1,619億円（前年比100.6% 884億円増）となりました。

元受共済契約高の推移



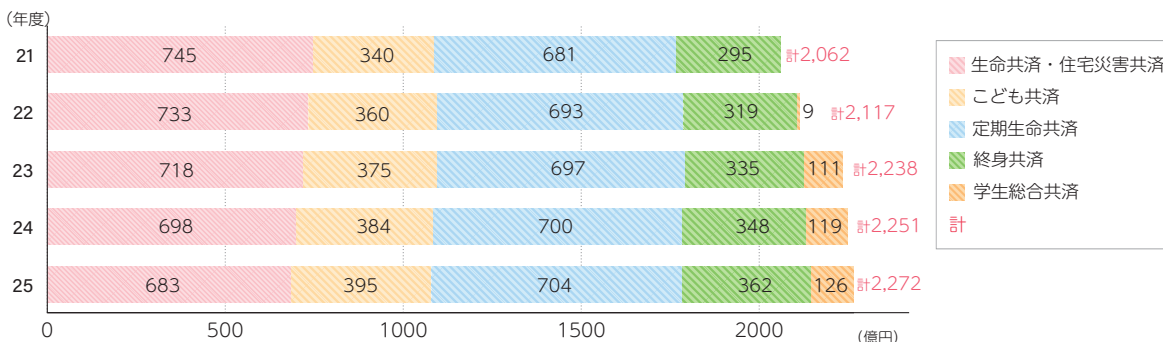
注1. 契約高は、生命共済・こども共済・定期生命共済・終身共済および学生総合共済の各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の合計です。
 2. 「生命共済」とは、「たすけあい」のジュニアコース以外のコースをさします。「こども共済」とは、「たすけあい」のジュニアコースをさします。「定期生命共済」とは、「あいづらす」をさします。「終身共済」とは、「ずっとあい」をさします。「学生総合共済」とは、「学生総合共済」、新社会人コースおよび短期生命共済をさします。
 3. CO・OP共済全体（CO・OP共済グループ全体）実績は参考資料をご参照ください。

共済掛金

受入共済掛金 **2,272億円**

CO・OP共済の受入共済掛金（元受共済）は、2,272億円（前年比101.0% 21億円増）となりました。

元受共済受入共済掛金の推移



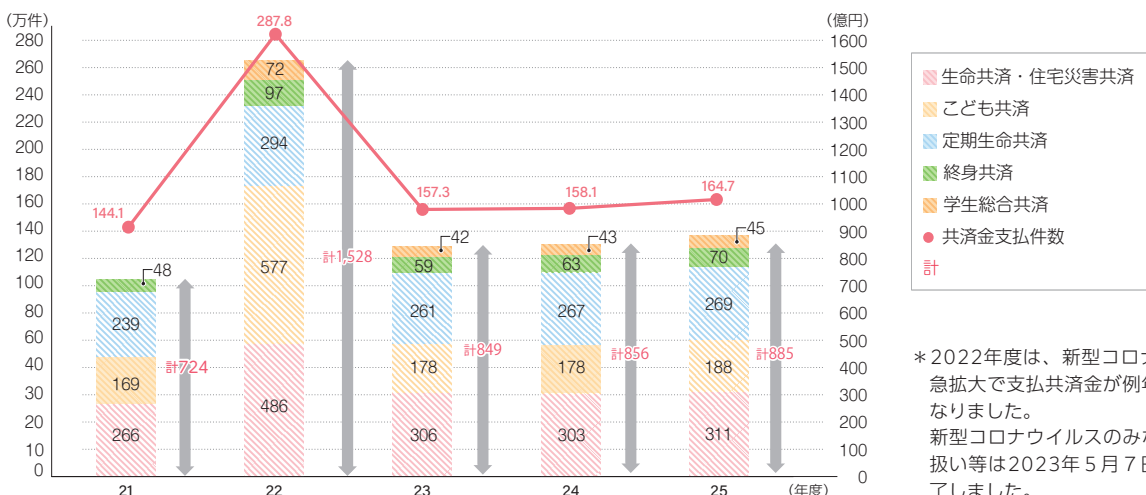
共済金

支払共済金 **164万7,815件 885億円**

CO・OP共済の共済金支払件数（元受共済）は、164万7,815件（前年比104.2% 66,514件増）となりました。

CO・OP共済の支払共済金額（元受共済）は、885億円（前年比103.4% 29億円増）となりました。

共済金支払件数と支払共済金額の推移



* 2022年度は、新型コロナウイルスの急拡大で支払共済金が例年の2倍強になりました。新型コロナウイルスのみなし入院の取扱い等は2023年5月7日をもって終了しました。

3 経営概況

財務概況

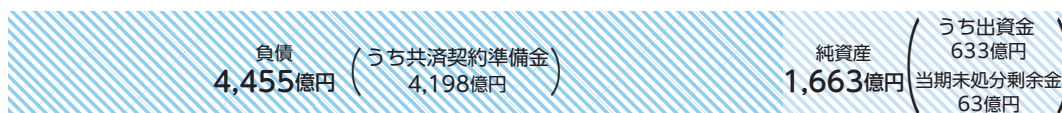
◆ 資産および負債・資本の状況（2026年3月20日現在）

（億円未満切り捨て）

資産 6,119億円



負債と純資産 6,119億円



損益概況

◆ 収入および費用の状況（2025年3月21日～2026年3月20日）

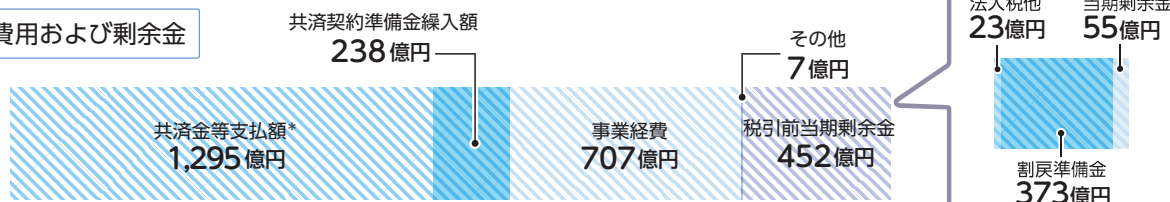
（億円未満切り捨て）

収益



* 共済掛金等収入には、受入共済掛金のほか、受入共済金、受入受託手数料を含みます。

費用および剰余金



※ 割戻準備金より、契約者に割戻しをしています。

* 共済金等支払額には、支払共済金のほか、支払共済掛金、支払返戻金、支払割戻金を含みます。

剰余金処分

2025年度決算後の剰余金処分は以下のとおりです。

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

	2024年度	2025年度
当期末処分剰余金	6,326	6,309
剰余金処分額	6,057	6,026
法定準備金	1,060	1,120
出資配当金	760	760
任意積立金	4,236	4,146
次期繰越剰余金	269	282

支払余力比率

支払余力比率は、1364.0%となり、十分な支払余力を備えています。

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

項 目	2024年度	2025年度
支払余力総額(A)	236,085	246,764
リスクの合計額(B)	35,579	36,183
支払余力比率(C) = (A) / {(B) × 1/2} × 100	1327.1%	1364.0%

注1. 上記比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの一指標です。消費生活協同組合法施行規則第166条の2、第166条の3および消費生活協同組合法施行規程第4条の2から第4条の5までの規程に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。

2. 生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較はできません。

基礎利益

基礎利益は、以下のとおりです。

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2024年度	2025年度
基礎利益	50,975	50,568
利差益	418	1,353
危険差益	46,237	44,927
費差益	4,318	4,287

注1. 基礎利益は、損益計算書の「経常剰余」から有価証券売却損益などの「キャピタル損益」および異常危険準備金繰入額などの「臨時損益」を除いて算出され、共済事業の基礎的な期間収益の状況を表す指標です。

2. 利差益、危険差益、費差益について

利差益：想定した資産運用益（予定利率）と実際の運用収益との差額

危険差益：想定した共済金支払額（予定危険率）と実際に発生した共済金支払額との差額

費差益：想定した事業費（予定事業費率）と実際の事業費との差額

4 割戻金の状況

CO・OP共済では、年度決算で生じた剰余金を契約者に割戻ししています。
各事業規約における契約者割戻準備金は、以下のとおりです。

CO・OP共済《たすけあい》

◎ 生命共済・住宅災害共済（ジュニアコース以外のコース）、こども共済（ジュニアコース）

2025年度の生命共済・住宅災害共済・こども共済における契約者割戻金の額は全体で212億2,400万円です。

■ 事業規約別の割戻準備金

（単位：百万円/百万円未満切り捨て）

規 約 名	2024年度	2025年度
生命共済事業*	14,302	13,131
住宅災害共済事業	159	218
こども共済事業	7,541	7,875
合 計	22,002	21,224

*生命共済事業には、CO・OP共済《あいづらす》プラチナ85に付帯する先進医療特約を含みます。

CO・OP共済《あいづらす》

◎ 定期生命共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として満期まで積み立ててお支払いします。

2025年度は、145億1,100万円を積み立てました。

■ 割戻準備金

（単位：百万円/百万円未満切り捨て）

規 約 名	2024年度	2025年度
定期生命共済事業	14,896	14,511

CO・OP共済《ずっとあい》

◎ 終身共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として契約終了まで積み立ててお支払いします。

2025年度は、16億2,100万円を積み立てました。

■ 割戻準備金

（単位：百万円/百万円未満切り捨て）

規 約 名	2024年度	2025年度
終身共済事業	1,638	1,621

CO・OP 学生総合共済

◎ 学生総合共済

2025年度の割戻金はありません。

5 資産運用状況

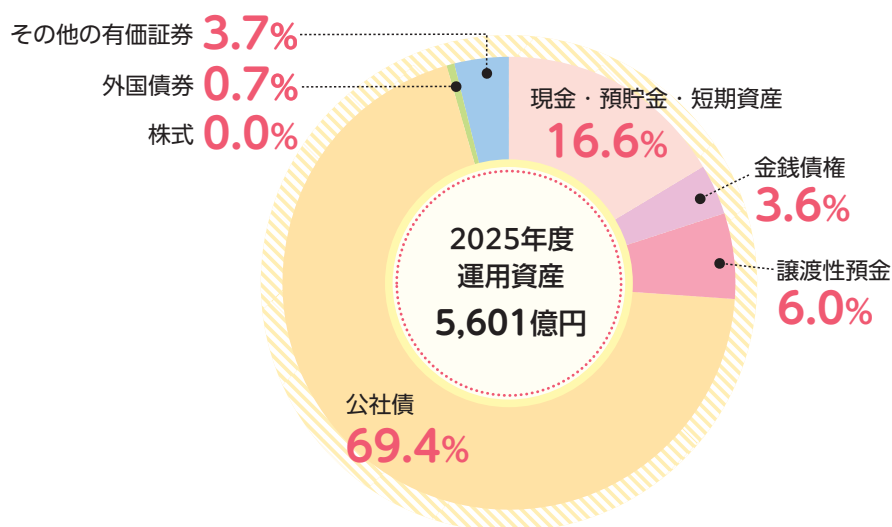
コープ共済連では資産運用方針に沿って、健全な運用に努めています。

資産運用方針

- ① コープ共済連では、CO・OP共済ご契約者の皆様からお預かりした資金を、「消費生活協同組合法施行規則」に基づき、安全かつ効率的に運用を行います。
- ② 市場価格の変動リスクや信用リスク等の資産運用に関わる各種リスクについては、資産運用リスク管理規程において、それぞれのリスク管理方法を定め、またALM(資産と負債の総合管理)の観点から負債特性を踏まえ、適切な管理を行います。
- ③ 資産運用にあたっては、資金の特性に応じ、預貯金や公社債といった安全資産を軸とした適切な運用・管理を実施します。

■ 運用資産の状況

運用資産は、5,601億円となりました。その内訳は、現金・預貯金・短期資産が16.6%、金銭債権は3.6%、譲渡性預金は6.0%、公社債が69.4%などで構成されています。



■ SDGs債への投資

コープ共済連では、2017年度からSDGs債*への投資を開始しました。

以降、徐々に取り組みを拡大し、2026年3月時点で323億円の保有残高となっています。今後もSDGs債への投資を継続的に実施することによって、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取り組んでいきます。

* 債券の発行によって調達した資金の使途を環境課題の解決に資する事業に限定した「グリーンボンド」、資金使途を社会的課題の解決に限定した「ソーシャルボンド」、環境と社会両面の持続可能性に貢献する「サステナビリティボンド」など、これらは国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する債券であるとしてSDGs債と総称されています。

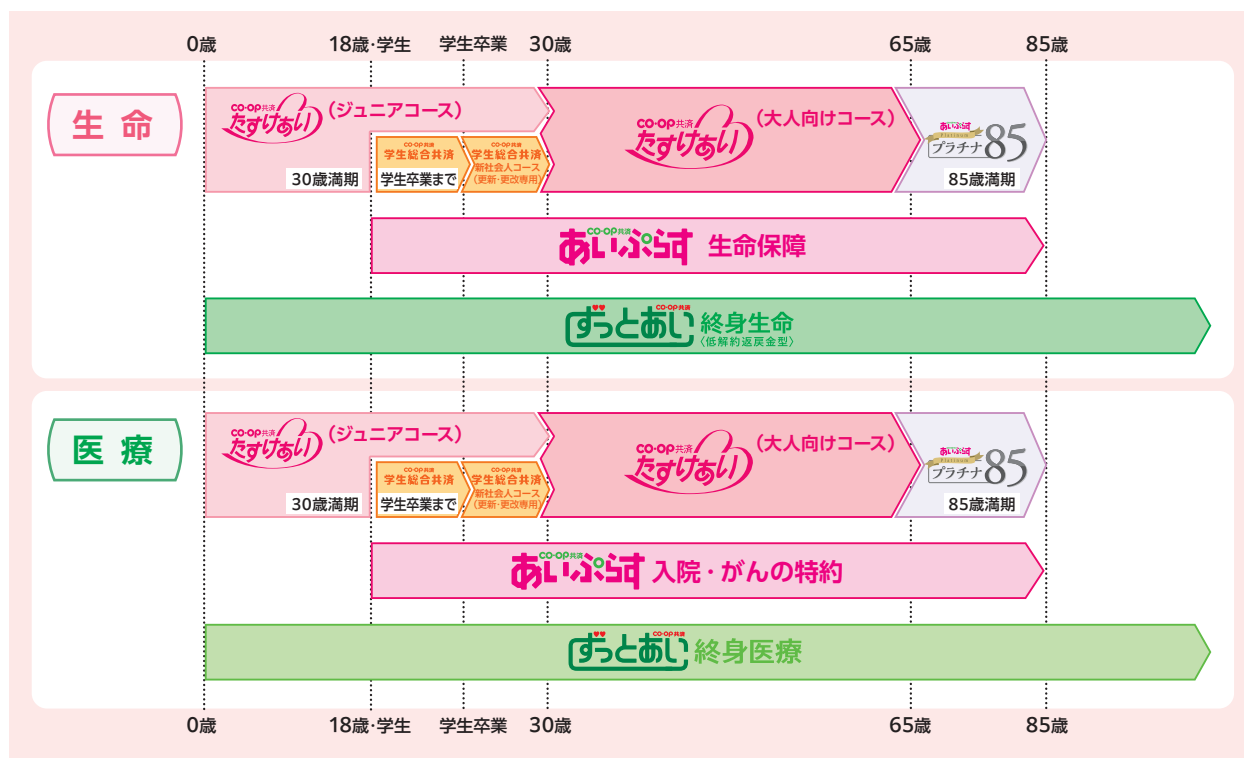
CO・OP共済では、生命・医療の保障である《たすけあい》、《あいぷらす》、《ずっとあい》、《学生総合共済》、《新あいあい》と、住まいと家財の万が一に備える《火災共済》、車の補償である《マイカー共済》を取り扱っています。ご家族一人ひとりにあった商品、コースをお選びいただけます。

■ 商品ラインナップ



■ 生命・医療に関する保障イメージ

CO・OP共済は0歳から加入でき、一生涯の保障も提供しています。



CO・OP共済《たすけあい》(生命共済・住宅災害共済・こども共済)



入院、ケガによる通院など“生きていく中で必要な保障”を手頃な掛金で充実させた共済商品です。家族死亡や住宅災害の保障もついて(ジュニアコースを除く)、幅広い場面で加入者のお役に立っています。

ジュニアコース

入院や子どもに多いケガの保障が充実

■ 加入できる年齢(発効日時点)／性別 → 0歳～満19歳*1／女性・男性

■ 保障期間 → 満30歳の満期日まで
※大人向けコース等で保障を続けられます。

保 障 内 容	J1000円コース 月掛金1,000円	J2000円コース 月掛金2,000円	J1900円コース 月掛金1,900円 ※加入条件がゆるやかなコース
病气入院・事故(ケガ)入院 (1日目から360日分)	日額 6,000円	日額 10,000円	日額 5,000円
事故(ケガ)通院*2 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円	日額 3,000円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 1・5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 2・10・20・40万円	手術の内容により金額が変わります 0.8・4・8・16万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	36万円	60万円	30万円
事 故 後 遺 障 害*3 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 14～350万円	障害の程度に応じて金額が変わります 28～700万円	障害の程度に応じて金額が変わります 14～350万円
病气死亡・重度障害*4	100万円 +	500万円 +	100万円 +
事故死亡・事故重度障害*4 (事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円	上記にプラス 300万円	上記にプラス 50万円
親扶養者死亡・親扶養者重度障害*4	4万円	20万円	4万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害*4 (事故日から2年以内)	100万円	700万円	100万円

*1 19歳までにジュニアコースへ加入いただいた方は、満29歳まで同コース間の変更(更改)が可能です。

大人向けコース(女性)

病气やケガの内容にかかわらず、入院時にも手厚く保障

■ 加入できる年齢(発効日時点)／性別 → 満20歳～満64歳／女性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで
※満85歳まで《あいがらす》プラチナ85で保障を続けられます。

保 障 内 容	2000円コース(女性) 月掛金2,000円	3000円コース(女性) 月掛金3,000円	4000円コース(女性) 月掛金4,000円
病气入院・事故(ケガ)入院 (1日目から184日分)	日額 8,000円*5	日額 10,500円*5	日額 13,000円*5
事故(ケガ)通院*2 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 1,500円	日額 1,750円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 1・2・4・8万円	手術の内容により金額が変わります 1.5・3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 3・6・12・24万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	48万円	63万円	78万円
事 故 後 遺 障 害*3 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 4～100万円	障害の程度に応じて金額が変わります 8～200万円	障害の程度に応じて金額が変わります 12～300万円
病气死亡・重度障害*4	100万円 +	300万円 +	400万円 +
事故死亡・事故重度障害*4 (事故日から2年以内)	上記にプラス 100万円	上記にプラス 200万円	上記にプラス 300万円
家族死亡・家族重度障害*4 (同居の親/扶養または同居する子/配偶者)	1・2・5万円		
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼損(20万円以上の被害)・床上浸水/半壊・半壊/全壊・全壊・流失	3・15・30万円		

大人向けコース(男性)

医療保障と生命保障をバランス良く備えられます。

■ 加入できる年齢(発効日時点) / 性別 → 満20歳～満64歳 / 男性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで

※満85歳まで《あいづらす》プラチナ85で保障を続けられます。

保 障 内 容	2000円コース(男性) 月掛金2,000円	3000円コース(男性) 月掛金3,000円	4000円コース(男性) 月掛金4,000円
病气入院・事故(ケガ)入院 (1日目から184日分)	日額 6,000円	日額 8,000円	日額 10,000円
事故(ケガ)通院 *2 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 1,500円	日額 1,750円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 1・2・4・8万円	手術の内容により金額が変わります 1.5・3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 3・6・12・24万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	36万円	48万円	60万円
事 故 後 遺 障 害 *3 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 4～100万円	障害の程度に応じて金額が変わります 8～200万円	障害の程度に応じて金額が変わります 12～300万円
病气死亡・重度障害 *4	100万円 ⊕ 上記にプラス 100万円	300万円 ⊕ 上記にプラス 200万円	400万円 ⊕ 上記にプラス 300万円
事故死亡・事故重度障害 *4 (事故日から2年以内)			
家族死亡・家族重度障害 *4 (同居の親/扶養または同居する子/配偶者)		1・2・5万円	
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼壊(20万円以上の被害)・床上浸水/半壊・半壊/全壊・全壊・流失		3・15・30万円	

告知緩やかコース

通院中や服薬中の方、持病のある方も入りやすいコース

■ 加入できる年齢(発効日時点) / 性別 → 0歳～満64歳 / 女性・男性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで

※満85歳まで《あいづらす》プラチナ85で保障を続けられます。

※ご加入には一定の条件があります。

保 障 内 容	告知緩やか1000円コース 月掛金1,000円
病气入院・事故(ケガ)入院	日額 2,000円 19歳まで: 1日目から360日分 *6 20歳から: 1日目から184日分
事故(ケガ)通院 *2 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 1,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 0.5・1・2・4万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	12万円
事 故 後 遺 障 害 *3 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 2～50万円
病气死亡・重度障害 *4	10万円 ⊕ 上記にプラス 50万円
事故死亡・事故重度障害 *4 (事故日から2年以内)	
家族死亡・家族重度障害 *4 (同居の親/扶養または同居する子/配偶者)	1・2・5万円
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼壊(20万円以上の被害)・床上浸水/半壊・半壊/全壊・全壊・流失	3・15・30万円

*2 医師の指示により固定具を装着した場合、ケガ通院共済金10日分が通院日数に加算される場合があります。

*3 事故により支払割合が100%の後遺障害となった場合には、この表の事故後遺障害の最高金額と、事故死亡・事故重度障害の金額を合算してお支払いします。

*4 労働者災害補償保険法施行規則の障害等級表の1級、2級、3級の②③④の状態。被共済者が死亡した場合、または重度障害共済金をお支払いした場合には、ご契約は終了(消滅)します。

*5 大人向けコース(女性)の入院日額は、女性入院時諸費用サポートの金額を含みます。

*6 発効日における年齢が0歳～満19歳の場合、満20歳の満期までは1入院について360日分で保障し、それ以降は184日分の保障となります。

■ 《たすけあい》には、先進医療特約を追加で付帯することができます。

先進医療特約	月掛金:《たすけあい》月掛金にプラス100円 支払限度額 1回あたり最高1,000万円* *先進医療共済金と先進医療一時金を合算
※告知緩やかコース・J1900円コースには付帯できません。 ※先進医療については厚生労働省のホームページでご確認ください。 ※先進医療とは厚生労働大臣が定める医療技術で、技術ごとに決められた適応症に対し施設基準に適合する医療機関にておこなわれるものに限り、医療技術を受けた日において、先進医療にあてはまらない場合はお支払いできません。	

※ジュニアコース、大人向けコース、告知緩やかコースに追加して個人賠償責任保険に加入できます。個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を引受幹事保険会社とし、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約です。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は、商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP共済《あいぷらす》（定期生命共済）



死亡・重度障害等万が一の備えを充実させた共済です。手頃な掛金で最高3,000万円の生命保障が得られます。必要に応じて入院特約・がんの特約を付帯でき、自分にあった保障が設計できます。また、《たすけあい》との組み合わせでさらに保障を充実させることもできます。男女・年齢別の掛金で、共済期間は10年間（掛金は変わりません）、10年後の更新時には更新時の満年齢の掛金に変わります。更新手続きをしながら、満85歳まで保障を続けることができます。

組み合わせパターンは4種類

- 1 生命保障
- 2 生命保障 + 入院特約
- 3 生命保障 + 新がん特約
- 4 生命保障 + 入院特約 + 新がん特約

満18歳～満60歳の方

加入できる年齢（発効日の年齢）／性別	共済期間	掛金
満18歳～満60歳／女性・男性	10年間	加入時より10年間同じ

※満期時に契約を更新、もしくは共済期間内で契約を変更する場合はそのときの年齢の掛金になります。

生命保障

死亡・重度障害を保障。必ず保障金額をいずれか1つお選びください。

死亡・重度障害（病気・事故）						
300万円	500万円	1,000万円	1,500万円	2,000万円	2,500万円	3,000万円

入院特約

入院1日目からしっかりカバー！ どちらか1つお選びください。

	日額 5,000円	日額 10,000円
病気入院・事故（ケガ）入院* （1日目から180日分）	日額 5,000円	日額 10,000円
長期入院 （270日以上連続した入院）	30万円	60万円
手術 （共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合）	5・10・20万円 手術の内容により金額が変わります	10・20・40万円 手術の内容により金額が変わります

* 病気入院、事故（ケガ）入院それぞれ全共済期間（契約を更新・更改した場合を含みます）通算して1,000日が限度です。

新がん特約

がん治療共済金などで手厚くサポート！ どちらか1つお選びください。

	がん治療共済金 100万円	がん治療共済金 200万円
がん治療共済金*1 （2年に1回を限度として何度でも）	100万円	200万円
がん入院共済金 （1日目からの支払い、日数無制限）	日額 10,000円	
がん手術共済金 （共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合）	10・20・40万円 手術の内容により金額が変わります	
がん退院共済金*2	10万円	
がん通院共済金*3	日額 5,000円	

*1 1回目は、がんと診断確定した場合に支払います。2回目は、がんと診断確定された日から2年経過以降にがんによる入院をした場合に支払います。支払回数に制限はありません。

*2 20日以上連続した入院をして無事退院した場合。退院後180日以内の再入院にはがん退院共済金はお支払いしません。

*3 5日以上連続した入院の退院後180日以内の通院。1入院につき30日分まで。全共済期間（契約を更新・更改した場合を含みます）通算して1,000日が限度です。

満60歳～満70歳の方

加入できる年齢（発効日の年齢）／性別	共済期間	掛 金
満60歳～満69歳／女性・男性	10年間	加入時より10年間同じ*
満70歳／女性・男性	15年間	加入時より15年間同じ

* 満期時に契約を更新、もしくは共済期間内で契約を更改する場合はそのときの年齢の掛金になります。

生命保障

死亡・重度障害を保障。必ず保障金額をいずれか1つお選びください。

死亡・重度障害（病気・事故）	100万円	300万円	500万円
----------------	-------	-------	-------

●満60歳の方は生命保障1,000万円・1,500万円・2,000万円・2,500万円・3,000万円もお選びいただけます。

入院特約

入院1日目からしっかりカバー！ いずれか1つお選びください。

	日額 3,000円	日額 5,000円	日額 10,000円
病気入院・事故(ケガ)入院* (1日目から180日分)	日額 3,000円	日額 5,000円	日額 10,000円
長期入院 (270日以上連続した入院)	18万円	30万円	60万円
手術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 10・20・40万円

* 病気入院、事故(ケガ)入院それぞれ全共済期間(契約を更新・更改した場合を含みます)通算して1,000日が限度です。

新がん特約

がん治療共済金などで手厚くサポート！

	がん治療共済金 50万円
がん治療共済金*1 (2年に1回を限度として何度でも)	50万円
がん入院共済金 (1日目からの支払い、日数無制限)	日額 5,000円
がん手術共済金 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	5・10・20万円 手術の内容により金額が変わります
がん退院共済金*2	5万円
がん通院共済金*3	日額 2,500円

*1 1回目は、がんと診断確定した場合に支払います。2回目は、がんと診断確定された日から2年経過以降にがんによる入院をした場合に支払います。支払回数に制限はありません。

*2 20日以上連続した入院をして無事退院した場合。退院後180日以内の再入院にはがん退院共済金はお支払いしません。

*3 5日以上連続した入院の退院後180日以内の通院。1入院につき30日分まで。全共済期間(契約を更新・更改した場合を含みます)通算して1,000日が限度です。

※2013年9月1日以前に発効した「がん特約」と本ページの「新がん特約」は異なります。

※新がん特約の「責任開始日」は、申込日から91日目、または発効日のいずれか遅い日となります。

※掛金については、CO・OP共済オフィシャルホームページをご参照ください。▶ <https://coopkyosai.coop>

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP共済《あいぷらす》プラチナ85



満65歳～満70歳までの方がご加入でき、入院・死亡保障を満85歳まで継続いただけます。保障内容は加入時から満期まで変わりません。また、必要に応じて手術、死亡保障を上乗せすることができます。

保 障 内 容										
基本コース 月掛金	女性2型	男性2型	女性3型	男性3型	女性4型	男性4型	女性5型	男性5型	女性1型	男性1型
	2,000円		3,000円		4,000円		5,000円		1,000円	
入院したとき* (日額)	日額 3,000円	日額 2,000円	日額 4,500円	日額 3,000円	日額 6,000円	日額 4,000円	日額 7,500円	日額 5,000円	日額 1,500円	日額 1,000円
死亡したとき	6万円	4万円	9万円	6万円	12万円	8万円	15万円	10万円	3万円	2万円
共済期間	満85歳の満期終了日まで									
新規加入できる 年齢 (発効日の年齢)	満65歳～満70歳								《たすけあい》 65歳満期時移行 専用コース	

*1回の入院の支払限度日数は184日です。

*掛金の払込方法は月払のみです。 ※1名につき1契約のみ加入できます。

*病气入院、事故(ケガ)入院それぞれ全共済期間(契約を更改した場合を含む)通算して1,000日が限度です。

*重度障害共済金、長期入院共済金の保障はありません。 ※解約返戻金はありません。

+ 次の特約を任意で付帯できます。

+	手術サポート特約	月掛金：女性600円／男性800円
		手術1回につき一律2万円 $\left(\begin{array}{l} \text{※共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合} \\ \text{※同日に複数の手術を受けられた場合は、1回分のお支払いと} \\ \text{なります。} \end{array} \right)$
+	死亡保障上乗せ特約	月掛金：女性600円／男性1,300円
		基本コースの死亡保障にプラス30万円
+	先進医療特約	月掛金：性別にかかわらず100円
		1回あたり支払最高限度額1,000万円(※先進医療共済金と先進医療一時金を合算)

※特約は1名につきそれぞれ1口まで加入できます。 ※特約のみの加入はできません。

※《あいぷらす》プラチナ85に追加して個人賠償責任保険に加入できます。

個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を引受幹事保険会社とし、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約です。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は、商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP共済《ずっとあい》(終身共済)



《ずっとあい》終身生命〈低解約返戻金型〉と《ずっとあい》終身医療の2つの商品からなる、一生涯保障の続く共済です。「終身共済を作ってほしい。やはり、信頼できるCO・OP共済で終身保障を備えたい。」「これからもずっと加入し続けたいと思うが、終身タイプのプランも作ってほしい。」などの組合員からの声に応じて誕生しました。0歳から満70歳までの方が加入でき、加入時から一生涯掛金は変わりません。

ずっとあい 終身生命 〈低解約返戻金型〉

一生涯の生命保障

掛金払込期間は60歳・65歳・70歳・80歳払込満了からお選びいただけます。

加入できる年齢（発効日の年齢）	共済期間	掛 金
0歳～満70歳	終身	加入時より一生涯同じ

※年齢により加入できるコース、選べる払込期間が異なります。

加入できる年齢	0歳～満70歳まで			満15歳～満60歳まで	満60歳～満70歳まで
コース	200万円コース	300万円コース	500万円コース	1,000万円コース	100万円コース
死亡・重度障害（病気・事故）	200万円	300万円	500万円	1,000万円	100万円

※リビングニーズ共済金があります。

ずっとあい 終身医療

一生涯の医療保障

掛金払込期間は60歳・65歳・70歳払込満了・終身払からお選びいただけます。

加入できる年齢（発効日の年齢）	共済期間	掛 金
0歳～満70歳	終身	加入時より一生涯同じ

※年齢により加入できるコース、選べる払込期間が異なります。

加入できる年齢	0歳～		満30歳～満70歳まで
	満70歳まで	満60歳まで	
コース	入院日額 5,000円コース	入院日額 10,000円コース	入院日額 3,000円コース
病気入院・事故(ケガ)入院* 1日目から180日分	日額 5,000円	日額 10,000円	日額 3,000円
手術 (共済事業規約に定める 支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 2.5・5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 5・10・20・40万円	手術の内容により金額が変わります 1.5・3・6・12万円

*病気入院、事故(ケガ)入院それぞれ全共済期間通算して1,000日が限度です。

※《ずっとあい》終身医療に解約返戻金はありません。

※掛金払込期間中に被共済者が重度障がい状態に該当したとき、それ以降の掛金の払い込みは免除となり、保障は一生涯続きます。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※各商品の詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP学生総合共済 (G1200コース) (学生総合共済)

CO・OP共済
学生総合共済

行動範囲が大きく広がる大学生・専門学校生。予期せぬ治療費だけでなく、保護者の方の万が一の場合に学業継続に必要な費用への備えがあると安心です。

- 加入できる年齢(発効日時点) / 満18歳以上満34歳以下(大学生・専門学校生) ※加入申込期限は卒業予定年月の前月末日までです。
■ 保障の終了日 / 卒業予定年月の末日(最長満35歳の満期日まで)

保 障 内 容	G1200コース 共 済 金 額
病気入院・事故(ケガ)入院(1日目から360日分)	日額 10,000円
事故(ケガ)通院(事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円
手術(共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	1回の手術につき 50,000円
長期入院(270日以上連続した入院)	60万円
重度後遺障害(病気・事故問わず)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
事故後遺障害(事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
死亡(病気・事故問わず)	100万円
事故死亡(事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円
親扶養者死亡・親扶養者重度障害	50万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害(事故日から2年以内)	500万円
学業復帰支援臨時費用(重度後遺障害を負って復学した場合)	共済期間(1年)につき1回 100万円
こころの早期対応保障(精神疾患の診療を受けたとき)	共済期間(1年)につき1回 10,000円

新社会人コース B1200コース (学生総合共済)

CO・OP共済
学生総合共済

大学・専門学校を卒業後は、健康状態にかかわらず《学生総合共済》の加入者専用の「新社会人コース」へ継続できます。また、30歳の満期後も健康状態にかかわらずCO・OP共済《たすけあい》へ継続可能です。

- 加入できる年齢(発効日時点) / 満29歳まで (G1200コース等からの更新・更改専用契約) ■ 保障期間 / 満30歳の満期日まで

保 障 内 容	B1200コース 共 済 金 額
病気入院・事故(ケガ)入院(1日目から360日分)	日額 10,000円
事故(ケガ)通院(事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 2,000円
手術(共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	1回の手術につき 50,000円
長期入院(270日以上連続した入院)	60万円
重度後遺障害(病気・事故問わず)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
事故後遺障害(事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
死亡(病気・事故問わず)	100万円
事故死亡(事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円
親扶養者死亡・親扶養者重度障害	5万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害(事故日から2年以内)	50万円

※CO・OP学生総合共済(地域生協からの加入のみ)に追加して個人賠償責任保険に加入できます。

個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を引受幹事保険会社とし、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約です。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP生命共済《新あいあい》 (個人長期生命共済) 契約引受団体／こくみん共済 coop(全労済)

CO・OP生命共済
新あいあい

死亡保障(最高 疾病死亡2,000万円、災害死亡4,000万円まで)、満期金を中心とした基本契約に、入院・手術等の医療保障の特約を組み合わせることで、ご自身に合った保障を設計できる共済です。5年満期更新型で5年後には満期金が戻ってきます(最高500万円まで)。更新することで、最長満80歳まで保障を継続できます。

CO・OP火災共済 (風水害等給付金付火災共済・自然災害共済) 契約引受団体／こくみん共済 coop(全労済)



火災、消火作業による冠水・破壊、落雷、破裂・爆発、他人の車両の飛び込み、他人の住居からの水ぬれ、突発的な第三者の直接加害行為、建物外部からの物体の落下・飛来、風水害、地震などから、住まいと家財を保障する共済です。家財だけでも加入できます。

マイカー共済 (自動車総合補償共済) 契約引受団体／こくみん共済 coop(全労済)

マイカー共済

安全運転を続ける優良ドライバーに優しい、最大22等級・掛金65%割引や、お子様が運転する場合に嬉しい子供特約など、各種割引制度や特約を取り揃えています。また、安心のサポート体制で突然の車のトラブルにも24時間365日対応します。

生協の組合員向け団体保険

生協では、保障に対するさまざまなニーズに対応するため、CO・OP共済のほかに各保険会社の団体保険をご案内しています。団体保険とは、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約で、団体割引を使った割安な保険料で組合員に提供しています。

個人賠償責任保険

日常生活における偶然な事故で、他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりしたことなどで、法律上の賠償責任を負った場合に、1事故につき3億円を上限として保険金をお支払いします。1世帯の1人が加入すれば、ご家族全員を保障します。

※CO・OP共済《たすけあい》、CO・OP共済《あいがらす》プラチナ85・ゴールド85・ゴールド80、CO・OP学生総合共済(地域生協からの加入のみ)、新社会人コースに追加して加入できます。

新コープのケガ保険

入通院を伴うケガ等に対して、保険金をお支払いします。すべての年齢の方がご加入できる「傷害一時金プラン」と、65歳未満の方がご加入できる「入通院日額プラン」があります。

※一部の生協では取り扱いがございません。

コープの介護・認知症保険

要介護リスクに備える「介護プラン」と、認知症のリスクに備える「認知症プラン」、2つのプランがあります。「介護プラン」は公的介護保険制度の要介護2以上の認定、または引受保険会社所定の要介護状態が30日を超えて継続することで支払対象となります。「認知症プラン」は医師から認知症の診断確定を受けた場合に支払対象となります。

※一部の生協では取り扱いがございません。

コープの三大疾病保険

0歳（生後15日以降）から満84歳まで加入を申し込み、三大疾病（がん、急性心筋梗塞、脳卒中）のリスクに対して一時金で備えることができます。主な特徴は、2つの告知事項で加入しやすいこと、100歳まで補償が継続できることです。

※一部の生協では取り扱いがございません。

コープのお給料補償保険

ケガや病気によって長期間働くことができなくなってしまった場合に、65歳まで一定程度の収入を補償する保険です。主な特徴は、3つの告知事項で加入しやすいこと、うつ病などの精神障害による就業不能も補償されることです。

※一部の生協では取り扱いがございません。

学生賠償責任保険（一人暮らし特約なし・一人暮らし特約あり）

学生組合員の日常生活および実習中（正課の講義・アルバイト・インターンシップ等）における賠償事故を国内・海外を問わず保障する保険です。また、一人暮らし特約ありは水もれ等による借用住宅への賠償事故や、火災・水ぬれによる家財の損害、借用敷地内における家財や現金・自転車等の盗難にも対応します。

※大学生協の学生組合員が加入できます。

就学費用保障保険

扶養者が病気やケガで死亡した場合やケガで重度障がいを負って、学生組合員本人が扶養者に扶養されなくなった場合の授業料や教材費等の学資費用（実費）を卒業予定年まで毎年保障する保険です。

※大学生協の学生組合員が加入できます。